



平成30年度 仙北市立白岩小学校学校だより ～学校・家庭・地域をつなぐかけ橋として～

# 三つ柏

— MI TSU KASHIWA NO.13 —

平成30年6月29日発行

## ぼくの わたしのきもちをクルクルぐるーりに

— 1年生，図工の研究授業でがんばりました —



6月26日(火)，指導主事の先生をお迎えして，今年度最初の研究授業が行われました。今回は1年生の図工の授業。1年生にとっては初めて絵の具や筆を使う授業です。「楽しい」「うれしい」などの自分の気持ちを，太さや色，大きさを変えた「くるくる」を組み合わせて画用紙に描きました。今日のめあてや工夫したいことを確認した後，教室に敷いたブルーシートの上で絵の制作を行いました。話しかけるのも躊躇してしまうほど，子どもたちは真剣に取り組んでいました。

放課後，この授業をもとに研究会を行いました。先生方からは「子どもたちが見通しをもって『やりたい』という気持ちをもって活動していた」などの意見。指導主事の先生からは「自分で一生懸命取り組んだ満足感があつたから，その後の作品を見合う時間も充実していた」などの感想をいただきました。

今回は，保育園の先生方にも授業を参観してもらい，研修会にも参加していただきました。ありがとうございました。操先生と7人の元気な1年生の皆さん，お疲れ様でした。



### 白岩白百合保育園 園長先生から

三か月前に卒園していった子どもたちが，とても集中して授業を受けていることに感動しました。また，めあてをもって絵をかき，その後，自分のいいところ，友だちのいいところを見つけて話し合っているところは，まさしく小学生でした。今回，このような機会をいただきありがとうございました。

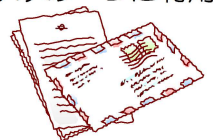
## ちょっといいはなし

- 感謝の気持ちを表現する大切さ -

先日行われた白岩地区住民運動会。その数日前に担任の先生に柴田前校長先生の住所を聞きにきた子どもがいました。目的は，柴田校長先生に招待状を出すため。当日柴田校長先生はどうしてもはずせない用事があったため，参加できませんでしたが，招待状をもらってとても嬉しかっただろうと思います。案内状を出した子どものおうちでは，感謝の気持ちを手紙にすることの大切さについても話し合ったそうです。

すてきなことですね。

夏休みを前にして学校には，たくさんの作文や絵画のコンクールの案内が届いています。その一つに「ありがとうの手紙コンテスト」がありました。感謝の気持ちをもっていても，何かきっかけがなければ，それを手紙などの形にして相手に伝えることはなかなかできないように思います。こういうコンクールをきっかけの一つに利用するのもよいのではないのでしょうか。様々なコンクールの案内は後日まとめてお知らせします。



## プログラミング教育が始まります

保護者の皆さんは、何か問題を解決しなければならぬときに（カレーライスを作る、部屋を掃除するなど日常のことを含めて）、効率よく解決するための手順を考えるのは得意ですか？また、分かりやすく、相手に何かを説明するのは得意ですか？

「問題を解決するための手順を考える」「相手に分かりやすく順序立てて説明する」などの力（論理的思考力）は、これまでも各教科の学習の中で育んできましたが、それに加えて「コンピュータに意図した処理を行うよう指示できるということ」を体験させながら、このような力を育てていこうというのが2020年から始まるプログラミング教育です。

プログラミングの技能を身に付けさせることが、プログラミング教育のねらいではありません。新しい教科ができるわけでもありません。今ある教科等の時間にコンピュータを使って行います。例えば、

5年生算数の図形の学習で、コンピュータの画面に正方形を書くためには、「真っ直ぐ〇cm進む」「右に〇度まがる」「左に〇度まがる」「もう一度繰り返す」などの動きをどのように組み合わせるとよいかを考え、実際にコンピュータに指示（プログラミング）して動かし、確かめてみるなどの学習が考えられます。うまく正方形が書けなかったらどこが間違っただ指示だったかを考えたり、うまく書けたらもっと簡単な指示の仕方はないかを考えたりします。何年生のどの教科のどこでプログラミング教育を行っているかは、各学校で決めることになっています。

白岩小学校では、教科の学習だけではなく、仙北市が地方創生特区に指定されていることを生かし、ドローン等を使ったプログラミング教育を総合的な学習の時間に取り入れることを考えています。

今後、子どもたちにとって過度な負担とならず、プログラミング教育のねらいを達成するための効果的な方法を先生方で考え、適切にプログラミング教育を実施していきます。



### 全国学力・学習状況調査から

## 白岩小学校の子どもたちは……

4月に行った全国学力・学習状況調査（目的や内容は「学校報NO.3」をご覧ください）。全国の集計は7月に発表されますが、それに先だって県でまとめた結果から、白岩小学校の子どもたちのよいところとこれから頑張っていきたいところをまとめてみました。

#### 【よいところ】

「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「朝食を毎日食べている」「家の人と学校の出来事について話す」「学級の友達との話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」 など

#### 【これからもっとがんばりたいところ】

「自分で計画を立てて勉強している」「地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会がある」「地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある」「社会のことがらや自然のことがらに、『不思議だな』『おもしろいな』などと思うことがある」 など



地域や社会に対する関心が薄いという結果は予想外でした。燈火祭など地域と一緒にやる行事や総合的な学習の時間の調べ学習をとおして、地域への関心を高めていかなければと思います。3日のPTAで行われる白岩カルタの研修会も地域への関心を高める上で、とても有り難い取組になると思います。



## みんなにがんばってほしいこと

もうすぐ夏休みが始まります。気持ちよく、元気に夏休みが迎えられように、7月に頑張りたいことは次のことです。

- 学 習 前期前半までの学習を振り返り、夏休みの学習計画を立てよう
- 生 活 暑さに負けず、けじめのある生活をしよう